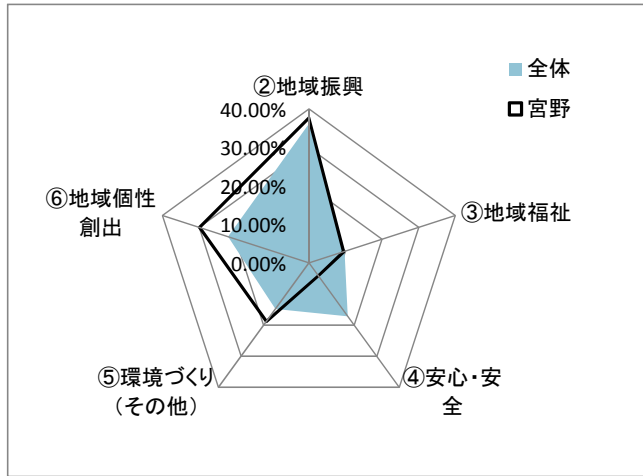


宮野地域 地域づくり協議会運営状況概要(平成25年度決算)



交付金配分枠	12,872,000 円
交付金決算額	11,896,896 円
その他収入	392,085 円
決算/配分	92.4%
各項目の決算	
①協議会運営	3,895,825 円
②地域振興	1,421,332 円
③地域福祉	358,345 円
④安心・安全	156,597 円
⑤環境づくり(土木工事)	4,619,000 円
⑤環境づくり(その他)	708,907 円
⑥地域個性創出	1,128,975 円
決算総額	12,288,981 円

地域づくりの活動方針 (テーマ)

みんなに やさしい のびゆくまちづくり

総括

「安心・安全な地域づくり」や「少子高齢化に対応した世代間交流」を中心に活動しました。今後は、広報の充実に取り組むこととしています。
 「第二期地域づくり計画」は、アンケートの意見をふまえて、十分な協議のもと地域課題を抽出し、将来の「みやのづくり」を示します。
 協議会の運営については、部会主体による事業の展開を目指し、部会と事務局の充実を図ります。

概要

①協議会運営	事務局運営費用 (人件費; 事務局長1名、事務局員1名 事務費)
②地域振興	新たな公共ニーズへの対応事業【県立大学との交流 (大交流会)、県立大学との交流 (着物喫茶)、県立大学との交流 (まち歩き企画) コミュニティ交通体系】、地域活性化推進事業 (地域交流センター備品)、広報活動事業、地域資源発掘事業 (宮野なの花会支援)、地域づくり計画策定事業
③地域福祉	世代間交流事業 (三世代交流グラウンドゴルフ大会、ふれあいボウリング大会、注連縄づくり)、地域福祉に関する事業、救命講習会事業、はつらつ健康増進事業
④安心・安全	子ども安全対策事業 (宮野キッズ守り隊、子ども110番の家)、防災対策事業 (防災講演会、自主防災組織設立支援、防災訓練キャンプ)、地域安心・安全環境整備、反射鏡設置事業、反射鏡点検事業、交通安全対策事業
⑤環境づくり	土木工事、地域環境整備事業、自然地域環境美化事業、さくらの里づくり事業 (保育・管理等支援、防除)、木戸山公園整備事業
⑥地域個性創出	文化・伝統支援事業 (観桜会、ホテルまつり、祇園裸坊)、健康推進事業、歴史・文化・自然写真コンテスト、スポーツ振興事業、自然体験活動推進事業、名所・旧跡等整備事業 (新名所の掘起し調査)、見聞を広める事業

今年度、重点的に取り組んだ事業

①	視点	” 地域の子どもは、地域で守る ” 見守り活動をとおして地域住民の繋がりをづくり		
	事業名	子ども安全対策事業	決算額	0円
	事業概要	<p>(実施内容) 宮野キッズ守り隊の組織強化を行いました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(登録人数) 200名</p> <p>(成果) 子どもの登下校時の安全を確保しました。</p> <p>(評価) 登録者の意思統一や活動の方向性、登録者の拡大等について協議する会議(総会)を開催し、活動を充実させる必要性があることがわかった。</p> <p>(今後に向けて) 広報活動の充実や活動の周知等を行い、関係団体と連携し会員の拡大及び組織強化を図ります。</p>		
②	事業概要	<p>(実施内容) 危機回避の避難場所となる「子ども110番の家」の拡充を行いました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(登録人数) 85名</p> <p>(成果) 子どもの安全を確保しました。</p> <p>(評価) 登録会員が増加し、概ねできました。</p> <p>(今後に向けて) 登録者を増加することが成果をあげることに繋がることから、広報を充実し安全確保の重要性を周知します。</p>		
	視点	地域住民の安全確保のために” 防災意識の向上 ” を図る		
	事業名	防災対策事業	決算額	45,717円
②	事業概要	<p>(実施内容) お気軽講座を利用し、防災意識を高めるための講演会を開催しました。</p> <p>(実施時期) 平成26年3月</p> <p>(参加人数) 40名</p> <p>(成果) 自主防災組織の設立を支援しました。</p> <p>(評価) 防災意識の高揚を図るためには、もっと啓発が必要であることがわかりました。</p> <p>(今後に向けて) 町内会長の集まる会議等で継続的に防災に係る講演会を開催し認識を高めていきます。</p>		
	事業概要	<p>(実施内容) 防災組織の「防災資機材整備事業」への取り組みに支援しました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(成果) 今年度は自主防災組織の設立がありませんでした。</p> <p>(評価) 自主防災組織の設立促進に向け課題が残りました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き普及啓発を図ります。</p>		
	事業概要	<p>(実施内容) 一日キャンプが中止となったため、子ども達を対象に防災体験学習会を開催しました。</p> <p>(実施時期) 平成26年2月</p> <p>(参加人数) 36名</p> <p>(成果) 有事の際に適切な行動をとり、身の安全を確保することを学びました。</p> <p>(評価) 参加者への意識づけは概ねできました。</p> <p>(今後に向けて) 防災意識を高めることは重要であり、多くの関係者を巻き込んだ防災キャンプの実施を検討します。</p>		

※裏面もあります

視点	少子高齢化を踏まえての世代を超えてコミュニティ基盤を築く		
事業名	世代間交流事業	決算額	235,106円
事業概要	<p>(実施内容) 子どもから高齢者がグラウンドゴルフを通じて、世代を超えた交流を図りました。</p> <p>(実施時期) 平成26年3月</p> <p>(参加人数) 63名</p> <p>(成果) 異世代が相互に交流し互いの生活文化や価値観の理解を深めました。</p> <p>(評価) 目標どおりできました。</p> <p>(今後に向けて) 複数回の実施や町内対抗での開催等で参加者を拡大し、交流を深めるプログラムの導入等を検討します。</p>		
事業概要	<p>(実施内容) 子どもから高齢者がボウリングを通じて、世代を超えた交流を図りました。</p> <p>(実施時期) 平成26年1月</p> <p>(参加人数) 63名</p> <p>(成果) 異世代が相互に交流し互いの生活文化や価値観の理解を深めました。</p> <p>(評価) 概ね目標どおりできました。</p> <p>(今後に向けて) さらに交流を深めるプログラムの導入等を検討します。</p>		
事業概要	<p>(実施内容) 高齢者の指導のもと、注連縄(しめなわ)をつくりました。</p> <p>(実施時期) 平成25年12月</p> <p>(参加人数) 39名</p> <p>(成果) 子どもから高齢者までの世代を超えた交流が図れました。</p> <p>(評価) イベント当日の活動の中で、もっと世代間交流を深める仕掛け作りを検討したいと感じました。</p> <p>(今後に向けて) 他の世代間交流事業と調整を行います。</p>		

③